

東京23区の南西部に位置し、ほぼ中央を小田急線と東急田園都市線が通り、その間を東急世田谷線が走り抜ける世田谷区。

その世田谷区のほぼ中央にある馬事公苑は、東京2020オリンピック・パラリンピックでは馬術競技の会場となり、前回の東京オリンピックで第二会場となった駒沢オリンピック公園は、サッカーの公式練習場となる予定です。

今回は、小田急線の千歳船橋駅・経堂駅と東急田園都市線の桜新町駅の間にスポットをあて、閑静な住宅地にある歴史ある建物や文化芸術に触れながら散歩してみましょう。

1 馬事公苑、「食と農」の博物館

馬事公苑は、馬事思想の普及と馬術選手の育成などを目的として1940年に開苑し、現在は日本中央競馬会が運営する馬事普及の拠点となっています。

1964年の東京オリンピックで馬術競技の会場として使用され、東京2020オリンピック・パラリンピック大会でも同様に馬術競技で使用される予定です。



▲メインオフィス



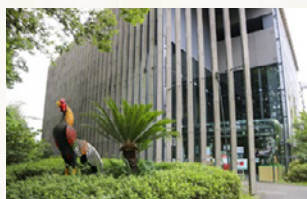
馬の形の水道

現在、苑内は全面的な整備が行われておりますが、“木づかいプロジェクト”として、やむを得ず伐採された樹木の活用、加工・再利用などの取り組みを行っており、一部公開されている武蔵野自然林にある、職人技を生かしたツリーハウスがそのシンボルとなっています。



▲走路

まるで
どんぐりのような
ツリーハウス！



▲「食と農」の博物館

馬事公苑前のけやき広場の脇には、実学主義を掲げる東京農業大学が設立した「食と農」の博物館があり、1階の吹き抜けのエントランスには国産最初期のトラクターなどが、2階には東京農業大学卒業生の蔵元「銘酒紹介コーナー」とともに、酒器及び酒の風俗・文化に関するものが展示され、鶏の起源とされる赤色野鶏などの剥製標本も展示されています。

また、隣接するバイオリウムでは、マダガスカルを中心とした植物や原猿類（レムール類）などの生き物を見学することができます。

2 長谷川町子美術館と記念館

国民的漫画「サザエさん」の作者である長谷川町子さんの美術館と記念館で、美術館は、長谷川町子と姉の穂子姉妹が蒐集した美術品・工芸品など「長谷川町子が愛したものたち」が展示されています。また、アニメの部屋では、キャラクターの紹介などアニメサザエさんの世界を紹介しています。

一方、美術館の向かいにある、生誕100年を記念して今年オープンした記念館では、自由に落書きができ、時間がたつと消える板塀（電子黒板）があったり、貴重な原画資料や愛用の仕事道具などが展示されています。

お土産に
どらやきはいかが？



フグ田家銅像
(桜新町駅西口
を出てすぐ)

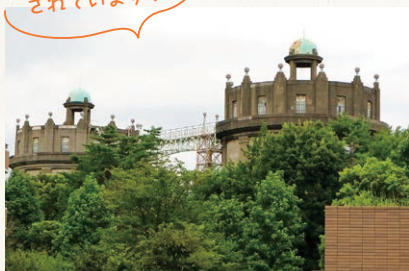


▲長谷川町子美術館



▲長谷川町子記念館

せたがや百景の1つで、
選奨土木遺産に認定
されています！



3 駒沢給水塔

鉄橋でつながれた不思議な2つの巨大な塔。1924年に完成したクラシカルなこの塔は、多摩川河畔の浄水場からきれいな水をポンプでこの塔に押し上げ、自然の重力を利用して渋谷町へ飲料水を送水した給水塔です。高さ30メートルの塔屋には王冠を連想させる装飾電球が取り付けられ、その形状やデザインから地元では長らく“丘上の王冠塔”などと呼ばれてきました。

4 向井潤吉アトリエ館

全国各地へ赴き、四季折々の風景とともに失われた草葺き屋根の民家を描き続けた画家、向井潤吉氏のアトリエ館。

館内には、埼玉や長野、京都など足繁く通った地域を中心に、独自の境地で描き続けて来た民家のある風景画が旅路をたどる



資料・画材などとあわせて展示されており、心癒される空間をじっくりと楽しむ事が出来ます。

5 世田谷代官屋敷

世田谷代官屋敷は、江戸時代中期以来、彦根藩世田谷領の代官を幕末まで世襲した大場家の役宅で、大場代官屋敷とも呼ばれ、約300年前に建てられた4方向に傾斜する屋根面を持つ寄棟造の主屋は、大名領の代官屋敷としては都内唯一の存在であり、都史跡や国の重要文化財にも指定されています。

最も重要な職務は年貢の収納であり、領内の治安維持なども重要な役割だった世田谷代官の敷地内には、主屋の他、茅葺きの表門、土蔵、白州跡などの一部が今も現存し、当時の面影を伝えています。

また、隣接する郷土資料館では、大場家に関する資料が展示されています。



6 豪徳寺

世田谷城主吉良政忠が1480年に建立したとされる「弘徳院」を前身とし、彦根2代藩主であった井伊直孝の頃、彦根藩に世田谷領の15ヶ村が与えられました。井伊家の菩提寺となった「弘徳院」は、直孝の没後には、直孝の法名に因み「豪徳寺」と改められました。



また、この寺には、招き猫伝説があり、井伊直孝がタカ狩りの帰りに寺の前を通りかかると、寺の飼猫「たま」が手招きをしているのを見かけた。導かれた直孝が寺に立ち寄り、しばし休憩していると突然の雷雨となり、雷雨を逃れた直孝はその後井伊家の菩提寺としたそうです。

豪徳寺の招き猫は幸運を招くとされ、招福殿には家内安全、商売繁盛、心願成就を願う参詣者が多く訪れます。



Information

◆世田谷八幡宮

源義家が奥州の地から勝利して帰途につくとき、ここ世田谷の地にて豪雨にあい先に進めず、天気回復を待ち滞在することとなった折、今回の戦勝は日頃信仰する八幡大社様のおかげであるとしてお祈りしたのが始まりとされています。

大鳥居を入るとすぐ右手に厳島神社があり、その上手に土俵が設けられています。ここは、渋谷氷川神社、大井鹿嶋神社とともに江戸郊外三大相撲が行われた場所で、円形劇場のような土俵では、現在も年に一度奉納相撲が行われているそうです。



◆駒沢オリンピック公園

1964年に開催された東京オリンピックでは、サッカーやバレーボールなどの会場となり、東京2020オリンピックではサッカーの公式練習場となる予定の公園です。広大な敷地には、様々な体育施設やサイクリングコースなどがあり、食のイベントなどに使用されることもあります。紅葉シーズンには、ケヤキやモミジなどが綺麗に色づき、訪れた人々を楽しませてくれることでしょう。

